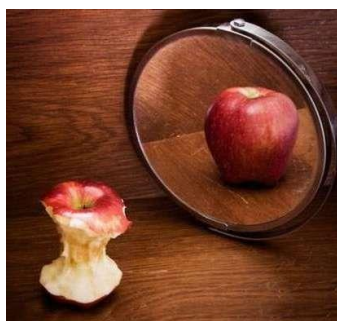




## 「Through the Looking-Glass」

学年主任 對馬 洋介



Cassius: Tell me Brutus, can you see your face?

Brutus: No, Cassius. For the eye sees not itself. But by reflection, by some other things.

. . . . .

Cassius: I, your glass,

Will modestly discover yourself

That of yourself which you yet know not of.

キャシアス: どうだ、ブルータス。君は自分の顔が見えるか。

ブルータス: いや、キャシアス、見えない。目は反射にしか、つまり他のものを通してしか自分自身を見ることができないから。(中略)

キャシアス: 私が君の鏡として、君自身も知らない君の姿を、あるがままに見せてやろう。

シェイクスピアの戯曲『ジュリアス・シーザー』からの引用を読み、二人の会話について思うことを40-60語の英語で述べなさい。

これは先日行われた東大の問題の一つです(試験には上記のように日本語訳もありました)。君たちも自分の思うところを考えてみよう。

同大の問いにある“glass”は「鏡」という意味です。現在、英語の授業で扱っている『鏡の国のアリス』の原題“Through the Looking-Glass, and What Alice Found There”でも使われています。

私たちは様々な場所で鏡を用い、「自分」を見ます。この行為は恐らく鏡が発明される前から行われており、一番古い鏡は「水面(水鏡)」です。その後、金属の表面を磨いた表面鏡、さらにガラスの裏面を銀メッキした鏡(裏面鏡)が現代では使われています。昔から人間は自分のことを知りたい生き物なのでしょう。

私たちは鏡があれば、自分を客観的に見ることができると思っていますが、反射(reflection)である以上、誰も本当の自分自身を見ることはできません。「自分」を認識するには自分ではないもの、「他人」という鏡が必要となります。だから、自分が描く「自分」と他人が描くそれは一致しているのか、それとも乖離しているのかを私たちは気にするのです。

意識して鏡を見ているあなたはそれが普段の「自分」だと思いがちです。しかし、他人は鏡を見ない「自分」を見ている。そしてそれがあなたの属する社会で認識されている「自分」です。同大は以前にも鏡をモチーフにした問いが出されており、「他者を通じて、自己と向き合おう」がメッセージの一つなのかもしれません。

人を見本にする、他を手本とすることを「鑑みる」と言います。漢字では「鏡」は「鑑」とも書くわけです。英語で「鏡」は mirror です。その語源は mirari(驚く)から派生した mirare(見つめる)に由来します(「奇跡」の miracle も同じ)。一年生もまもなく終わります。4月から2回目の一年生では困ります。新入生を驚かさず「鏡」になる。その結果、知らない「新しい自分」に出会えるはず。そして、人はそれを「成長」と呼ぶのではないのでしょうか。

### 《当事者意識＝選択と責任がある～九州研修旅行準備委員会》

先日3月1日の放課後に今年の9月の九州研修旅行に向けての第2回の実行委員会(学級委員と有志)が(株)JTBの斎藤さんも交えて行われました。当日は斎藤さんから研修旅行の日程が委員会メンバーに伝えられました。また、7月末までに「決めなければならないこと」の提示等もあり、非常に有意義なものとなりました(委員の真剣な眼差しに心打たれました)。例えば、当日の集合時間は? 飛行機やバスの割り振りは? 食事のメニューは? 家族旅行ではありません。提示された条件の中から自分たちで選び、そして決定していくのです。



学校の行事では、大人はもちろん協力はしますが、全てお膳立てはしません。知っての通り、君たちが作り上げるものです。この旅行のコンセプトは「委員を中心に生徒が先生たちを連れていく」です。

保護者会では君たちの親に「私たちは魚は釣ってあげません。代わりに『魚の釣り方』を教えます。」と1年間伝えてきました。自分(達)の選択には責任も付随します。生徒諸君、全員が当事者です。ちょうど半年後の今日出発です。

### 《保護者の皆様》

先日はお忙しい中、学年全体会ならびにクラス会への参加、誠にありがとうございました。4月の入学式でもお話ししました「共育、協育、今日育」へのご協力にも重ねて感謝いたします。今後も引き続きご支援よろしく願いいたします。

なお、欠席された方に学年全体会の概要をお知らせいたします。

- ・新クラス編成の確認(選抜クラスは3年生まで実施、修了式以降に文書にてお知らせ)
- ・数学のカリキュラムの変更
- ・進路支援部: 学力推移調査の返却の仕方
- ・生徒支援部: 今年のトラブル事例紹介、スマートフォンの使用に関して
- ・入試広報部: 多数の生徒の説明会への協力へのお礼
- ・学年費報告: 余剰金につきましては、5月をめどに返金予定
- ・九州研修旅行: 生徒の準備委員会発足
- ・学年主任ならびに学年団からの話

何か質問等がありましたら、学年までご連絡ください。